

プログラムⅢ 動物のために 私たちができること

「ペット」「家畜」「野生動物」は、それぞれ違った生活スタイルで生きていますが、そのいずれに対しても人間が大きく関わっています。この「プログラムⅢ」では、動物が体も心も健やかによりよく生きるため、私たちができることを考えます。



質問

それぞれの動物は、どのようにして生きているのでしょうか？



《野生動物》

自然の中で生活している動物。



《ペット》

人間といっしょに家などで暮らしている動物。



《家畜》

人間の役に立つために、農場や牧場で暮らしている動物。



質問

「私たちが動物のためにできることは何でしょう？」

- 「ペット」……えさや水を忘れず与える／毎日散歩に行く／一緒に遊ぶ／トイレを清潔にする
- 「家畜」……きちんとえさを与える／新鮮な水をあげる／うんちの掃除をする／小屋を清潔にする／おいしくいただく／大切に使う
- 「野生動物」…自然を守る／野生動物の場所に入って行かないようにする／そっとしておく

野生動物は、豊かな自然環境があれば自分のかたまりで生きていくことができるので、野生動物が棲む場所を人間が守ってあげることが必要だと思います。そして、野生動物にはえさをあげたりせずに、そっとしておく方がよいのではないかと思います。

家畜は、人間のために飼われている動物なので、毎日快適に暮らせるようにきちんと世話をすることが大切だと思います。また、人間は家畜の命を食べて生きているので、食事をするときには残さず全部食べるようにしなければいけないと思います。



ペットは、私たち家族の一員なので、毎日きちんと世話をし、たくさんの愛情をかけてあげることが大切だと思います。そして、不妊去勢手術をして、責任をもって世話ができる数以上に増やさないことも必要だと思います。

このプログラムの学び、「責任」とは
この3種類に分類した動物と私たちとの関係をまとめてみると、「ペット」には《生涯お世話》が必要です。「家畜」には《適切な管理》が必要です。そして、「野生動物」には《豊かな自然》が必要だということになります。
私たちは動物が好きとか嫌いとか、飼っているとかないとかに関わらず、様々な動物と様々な形で関わっていることに気づき、責任を果たさなければならないのです。